

杉村武 すぎむら たけし 評論家。明治四十二年八月（二十四日）歿。山縣生乳、昭和二十一年十一月八日歿（一九〇六一六）。善性喜多幅。筆名北中武、小楚、桐畑剛吉。杉村楚人冠の四男。昭和六年東京帝國大學文學部英文科卒。八年朝日新聞社入社、「週刊朝日」編輯長、圖書編輯部長、論說委員等歴任。

著書 「日本のレジスタンス」（合著・荒垣秀雄編、昭和二十九年一月十日河出書房新社「河出ペーパーバックス」）、「近代日本大出版事業史」（昭和四十二年十一月一日出版（ニューズ社））、「ハンゲ天」、「随想酒中花」（昭和四十七年六月二十日朝日新聞社）等。
之治の想い出』（合著・渡辺百編、昭和四十五年十一月二十日渡辺ハンゲ天）、「随想酒中花」（昭和四十七年六月二十日朝日新聞社）等。

